

平成23年行政事業レビューシート（外務省）										
事業名		安保理政策関係調査経費			担当部局庁		総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成19年度開始			担当課室		国連政策課		課長 小林 賢一	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅱ-1 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条、第三項 外務省組織令第34条			関係する計画、通知等		第百七十七回国会における菅総理施政方針演説及び前原外務大臣外交演説			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国連安全保障理事会(以下、安保理)に関する民間有識者との自由な意見交換を通じ、我が国の政策策定において民間の助言を取り入れ安保理での議論に反映させると共に、安保理の動きや安保理改革の現状を民間有識者にインプットすることで、言論市場を通じて国民の理解・支持の拡大につなげていく。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		安保理及び国際情勢について専門知識を有する民間有識者等との意見交換会を定期的に実施する。平成22年度においては、我が国が平成22年末まで安保理非常任理事国として行ってきた活動を民間有識者側に紹介するとともに、有識者側からの学界での動向を踏まえた助言を得る努力を行った。								
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	1	0.4	0.4	0.4	0.3		
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
			計	1	0.4	0.4	0.4	0.3		
		執行額		0.4	0.2	0.1				
		執行率(%)		43.6	56.4	25.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		安保理常任理事国入りに対する国民の支持割合(外交に関する世論調査(内閣府))。			成果実績	%	78.9	79.2	83.2	100
					達成度	%	78.9	79.2	83.2	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		本事業は、民間有識者との意見交換会の定期的開催(回数)。			活動実績 (当初見込み)	回数	3	2	3 (3)	— ()
単位当たりコスト		30(千円/回)			算出根拠	謝礼90千万円(3回の会合の総経費)÷3回				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	謝礼		440	330	事業見直し等による減					
計		440	330							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度においては、国連政策課と安保理に関心を有する民間有識者で構成される「安保理学界ネットワーク会合」を計3回（平成22年6月、11月及び平成23年3月）に実施した。その時期の安保理における主要議題及び安保理改革の現状につき活発な意見交換が行われ、平成22年末までの我が国の安保理理事国としての活動につき、有識者の理解を得ることに繋がった。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減（事業見直し等による減）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
●第百七十七回国会 菅総理大臣施政方針演説（関連部分抜粋） 「国連改革・安保理改革も主導していきます。」			
●第百七十七回国会 前原外務大臣外交演説（関連部分抜粋） 「国連が果たす役割を重視し、その実効性を高めるべく、国連の組織改革と機能強化を積極的に推進します。特に、安全保障理事会が今日の国際社会を反映した正統性を備えた機関となるよう、安保理改革の早期実現及び我が国の常任理事国入りを目指し、積極的に取り組みます。」			

※平成22年度実績を記入

外務省
0.1百万円

〔 安保理学界ネットワーク事務局 〕



A. 大学教授、准教授(11名)
0.1百万円

〔 安保理についての情報共有
・意見交換・助言提言 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大学准教授A	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.02		
2	大学准教授B	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
3	大学教授C	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
4	大学准教授D	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
5	大学教授E	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
6	大学教授F	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
7	大学教授G	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
8	大学教授H	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
9	大学教授I	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		
10	大学教授J	安保理についての情報共有・意見交換・助言提言	0.01		